

一般質問

9月8日、9日、10日の本会議では、延べ24人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。(発言順に掲載)

教育委員会の委員について



小谷安富 議員
(太陽の会)

問

人事案件で教育委員の選出が否決された。学校問題で1日ももつたいなく思いながら議論しなくてはいけない時期に、もう1人教育委員が足りない。市民にもすごく迷惑をかけてしまっていると思うし、加西市の子どもたちにとって、非常に不幸なことが起きたが、どうするのか。

答

今回の否決された教育委員については、人選、面接ともに全て教育長以下の教育委員会です。経歴を見ても素晴らしい方で、願っているには最適の方かと思っています。市長も最終的に面談させていただき、本当に志の高い教育に対して熱い情熱をお持ちの素晴らしいお方です。本来は三顧の礼で迎えるべき、また議会には全会一致でご承認いただいて、教育委員になっていただくにふさわしい人材であるのに、

正当な価値判断ができないとすれば、大変残念なことです。市長の力量とともに、議員の見識を市民は見ていると思いますので、再度教育委員の人事案件を上げる際は、ご理解賜りたいとお願ひ申し上げます。

加西病院の現状と課題と目指す方向について



山下光昭 議員
(無所属クラブ)

問

地方公営企業法の全部適用による経営形態の見直しについて、病院事業の経営責任者は病院長になるが、院長として、全部適用についてどのよう

に受けとめられているのか。経営の効率化の名の下に、病院の統合、集約化が近隣でも進められているが、市民にとっては大きな病院が一つあるよりも、小さくとも地域にある程度の病気を診てもらえる病院がある方が便利で安心であると考える。院長としての病院の集約化についての考えは。

答

全部適用自体は一つの手段に過ぎず、病院をどのように変えていくかというツールであると思っており、加西病院が実現すべきビジョンとしては、総合的な機能を持ち、可能な限り多くの疾患に対応できるような病院にしたいということです。迅速かつ弾力性を持った院内の運用や改革を行っていく上で、病院事業管理者の権限は大きな力になると考えています。病院の集約化、統合は、自治体病院の経営の苦しさ、地域の自治体病院から勤務医がいなくなっている事が根拠になっていきます。北播において三木・小野統合病院がそういう流れの中でできていると、加西病院がいかにかに市民に必要とされる医療が提供できるかは、病院の環境、経営、人材育成といった病院の組織、体力を強くしていくしかないと思います。現在の方角としては、今の病床規模で、総合的な診療が提供でき、医療者自身が安心して、患者さんにも安心を与えられるような医療体制をつくること目標です。

未婚対策における仲人制度



別府直 議員
(新政会)

問

いま未婚率が上がってきていると聞く。市が仲人認証制度をつくり、例えば区長、元区長、有志の方等に個人情報保護法に対する研修等を受けたり受けた方々を仲人としてやっていただきたいと思います。区長会だけでは校区内だけになるので、加西市が加わって、加西市内全域等の情報をまとめるようにすればどうか。

答

当市においても未婚率が大幅に上昇してきています。未婚率を下げれば子ども数は増えるはず。少子化対策の第一歩は、恋愛、結婚からです。少子化の背景にある恋愛、結婚にまで視野を広げた対応を図る必要があります。そうした中、地域ぐるみで恋愛と結婚を応援する仲人認証制度は、必要な制度であると考えています。